新 潟 大 学 保 健 学 雑 誌 投 稿 要 領

平成 26 年 3 月 19 日
令和 7 年 3 月 14 日一部改正
令和 8 年 3 月 26 日一部改正
令和 8 年 5 月 22 日一部改正
新潟大学保健学雑誌編集委員会

1．新潟大学保健学雑誌（以下「本誌」という。）は、新潟大学大学院保健学研究科、大学院医歯保健学研究科健康科学専攻看護学プログラム・次世代医療技術科学プログラムおよび医学部保健学科における教育研究の成果を公表するものである。本誌の目的および投稿資格者等は、新潟大学保健学雑誌発行要項を参照する。

2．本誌への投稿条件として、人および人体材料を用いた研究の場合は「ヘルシンキ宣言」（世界医学会）や「臨床研究に関する倫理指針」（厚生労働省）などの倫理的指針に従う。また、動物実験を含む研究の場合は「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」（文部科学省）などの指針に従う。倫理審査委員会の承認を経た場合は、その名称と承認番号を本文中に明記する。

3．投稿期間は、原則として発行年の前年 10 月末日（祝日の場合はその翌日）までとする。

4．和文論文および英文論文を受け付ける。和文論文の場合には、英文の「表題」「著者名」「所属」「要旨」「key words」を原稿末尾に付記すること。

5．英文原稿については、著者の責任において native speaker による英文校正を受けること。和文原稿に付す英文要旨についても、英文校正を受けることが望ましい。

6．和文原稿は、A4 版横書き 24 字×30 行（720 字）を 1 頁に設定する。英文原稿は、A4 版横書きダブルスペースとする。各ページにはページ番号を付し、行番号も入れる。

7．原稿の文字数は、要旨、図表、文献注等を含め「原著」および「総説」は 12,000 字（英文の場合は 6,000 語）以内、「症例報告」および「報告」は 8,000 字（英文の場合は 4,000 語）以内、「その他」は 4,000 字（英文の場合は 2,000 語）以内を原則とする。

8．「原著」「症例報告」「総説」および「報告」の場合には、400 字（英文の場合は 250 語）以内の要旨および 5 語以内の key words を記載する。

9．和文ランニングタイトルは 25 字、英文ランニングタイトルは 12 words 以内とする。

10．図および表は、1 点につき 360 字（英文の場合は 200 語）として換算する。

11．論文の構成は、表題、著者名、所属、要旨、key words、緒言、方法、結果、考察、結論および引用文献の順に記載することを原則とするが、内容に応じて変更することができる。

12．本文の書式は、原則として横書き、新仮名遣い、常用漢字を使用する。句読点は全角

とし、欧米文字、算用数字は半角とする。フォントは、和文の場合「MS 明朝」、英文の場合は「Century」とし、文字の大きさは 10.5 ポイントを原則とする。

１３．表題のフォントは、和文の場合「MS ゴシック太字」、英文の場合は「Century 太字」とし、文字の大きさは 16 ポイントとする。文字配置は中央寄せとする。

１４．著者名のフォントは、和文の場合「MS 明朝太字」、英文の場合は「Century 太字」とし、文字の大きさは 14 ポイントとする。文字配置は中央寄せとする。

１５．図表は、挿入時の大きさで１枚ごとに作成し、通し番号および簡潔な説明文を付す。挿入箇所は、本文原稿の右欄外に赤字で記入する。

１６．引用文献はバンクーバー方式に則った記載とし、本文に引用された順に番号をつけて末尾に一括する。本文中の該当箇所には右肩上に片括弧で当該番号を記入する。共著者は 3 名以内（4 名以上は、和文は他、英文は et al）とし、雑誌論文は、「著者. 表題. 誌名(Index Medicus、医学中央雑誌の記載に準拠). 発行年;巻数:頁.」の順に記載する。単行本等の書籍は、「著者名(編者名、監修者名): 書名. 出版者, 出版年, 発行地, 引用頁(章の場合).」とする。ウェブページならびに PDF ファイルからの引用をする場合は URL を記載する。

例）

ア　雑誌論文

1）Halpern SD, Ubel PA, Caplan AL. Solid-organ transplantation in HIV-infected patients. N Engl J Med. 2002;347:284-7.

2）東智子, 関奈緒, 田邊直仁, 他. 災害対応業務が自治体職員の身体的健康に及ぼす影響－新潟県中越地震前後における健康診断検査値の変化に注目して. 新潟医学会雑誌. 2010;12:671-81.

イ　書籍（全体）

1）Murray PR, Rosenthal KS, Kobayashi GS, et al: Medical microbiology. 4th ed. Mosby, 2002, St. Louis.

2）高木廣文: 質的研究を科学する. 医学書院, 2011, 東京.

ウ　書籍（章のみ）

1）Meltzer PS, Kallioniemi A, Trent JM: Chromosome alterations in human solid tumors. In: Vogelstein B, Kinzler KW, editors: The genetic basis of human cancer. McGraw-Hill, 2002, New York, p93-113.

2）岩渕三哉: 消化器系. 胃・十二指腸疾患. 鈴木利光, 山川光徳, 吉野正(監): ダイナミック病理学－365 症例からのアプローチ. 西村書店, 2010, 東京, p490-501.

１７．論文の理解に必要であり、かつ本文中の図表として掲載することが困難な資料については、著者は、本文中の図表を補完する目的で補足資料（Supplementary Materials）を作成し、当該論文とともに新潟大学学術リポジトリに登録することができる。

1. 著者は、補足資料を引用する箇所を本文中に明記しなければならない。

2. 補足資料のファイル形式は PDF とし、ファイルサイズは 5MB 以内とする。補足資料が複数ある場合には、これらを 1 つの PDF ファイルに統合して投稿しなければならない。
3. 補足資料には、付表および付図を含めることができる。各付表および付図には通し番号（付表 1、付図 1、Table S1、Figure S1 等）を付し、必要に応じて説明文を付記するものとする。
4. 補足資料の内容および体裁については、査読過程において修正を求めることがある。編集委員会は、当該修正指示を超える校正等は行わない。なお、個人情報の保護、転載許諾その他著作権に関する事項については、著者の責任において適切に処理しなければならない。

１８．原稿には表紙を付け、論文の種類、表題、著者および共著者の氏名、所属機関名、責任著者の連絡先（メールアドレス）を記載する。

１９．投稿論文の著作権は、編集委員会に帰属するため、論文に共著者がある場合には、当該論文の著作権の帰属について共著者全員の同意を必要とする。

２０．投稿は、電子データで行うものとし、新潟大学保健学科ホームページ内「新潟大学保健学雑誌」ページに掲載の投稿先へ、電子メールにより行うものとする。

https://www.clg.niigata-u.ac.jp/activity/magazine.html

２１．編集委員会が投稿の電子メールを受理した日を、投稿の受付日とする。

２２．投稿論文は、すべて査読を経るものとする。採否は、査読結果に基づき、編集委員会が決定する。査読者は、編集委員会が依頼する査読に適した本学教員または外部有識者とし、原則として 2 名とする。ただし、編集委員会が依頼した原稿については、この限りではない。査読の結果、再提出を求められた原稿は、所定の期限までに再投稿しなければならない。期限を過ぎた原稿は、新規受付として取り扱う。編集委員会は、投稿論文（再投稿論文を含む）が本誌の投稿要領に適合しないと判断した場合には、査読に付すことなく、体裁及び内容の修正を求め、再投稿を指示することがある。著者校正は 1 回限りとする。

２３．他誌に既発表あるいは投稿中の論文は、本誌への投稿を禁ずる。また、本誌に受理された論文は他誌に投稿できないこととする。

２４．本誌は別刷を作成しない。著者には電子データファイルを送付する。

附則

この要領は、令和８年 11 月４日から実施する。